

事業報告書

報告日：令和4年7月22日	主催：沖縄県、公益財団法人おきなわ女性財団	
タイトル：令和4年度男女共同参画週間パネル展 「復帰50周年 HERSTORY #沖縄の女性たちが次世代へ伝えたいこと」		
開催日：令和4年6月23日 ～令和4年7月7日	場所：沖縄県男女共同参画センター 「ているる」1階展示コーナー 同時開催：沖縄県県庁県民ホール (6月27日～7月1日)	参加対象：一般
概要 <p>例年、男女共同参画週間（6月23日から29日まで）に合わせてパネル展を実施。本年は、好評につき開催期間を7月7日まで延長した。また、ているる図書情報室主催「女性のあゆみ」パネル展も同時開催した。</p> <p>令和4年度のキャッチフレーズは、『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』。</p> <p>男女共同参画週間とは、全ての個性が、お互いに人権を尊重し、性別に関わりなく、職場・学校・地域・家庭で、各々の個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」について理解を深め、社会づくりに寄与することを目的とし設定されている。本年は沖縄が日本に復帰して50年を迎える節目であることから、復帰後50年を「女性と人権」を軸に年表で振り返った。</p> <p>パネルでは、まず始めに戦後米施政権下におかれた沖縄で、女性たちが地域や教育、行政、経済などの各分野で社会的な課題や問題等に団結して取り組んだことを紹介。続いて復帰後も様々なジェンダー的課題が多く、県内女性たちによって取り組まれたことを紹介。</p> <p>年表では、「トートーメー継承問題」、国籍法の改正の契機となった「無国籍児問題」、「女性バスガイド35歳定年訴訟」、「金武区柚山訴訟」などのジェンダー的問題と取り組みをコラム形式でも紹介した。</p> <p>現在の沖縄を「女性と人権」という観点から振り返ると、復帰後なお続く在沖米軍基地から派生する女性への事件・事故、汚染水の流出など県民生活に直結した問題、またコロナ禍で顕著となった女性や子どもの貧困など人権を損なう諸問題があることを指摘。最後に、沖縄県の取り組みとして、「安全・安心で幸福が実感できる島」形成に向けた「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」と、全ての県民が、互いを認め支え合い、心豊かな活力ある沖縄の実現を目指す「第6次沖縄県男女共同参画計画～DEIGOプラン～」を取り上げた。パネル年表には、各分野で功績をのこした女性たちの名前を記載した。</p> <p>パネルの最後に、感想シール投票を行った。全得票数38票のうち、「上等だった」34票、「よかった」4票となり、好評を得た結果であった。また、寄せられた感想をみると「トートーメー継承問題や管理職夫婦の共働き規制問題など初めて知ることも多く、解説もわかりやすくてよかったです」など、50年間の出来事が新しい学びとなったことが伺える。</p> <p>「#沖縄の女性たちが次世代へ伝えたいこと」として、50年間の歴史的事実とともに、来場者一人一人がパネルを通じ、沖縄の先輩女性たちが諦めずに社会を前へ進めてきた力強さやしなやかさ等を受け取ることで、「あなたらしい あたらしい時代」へ向かう意識啓発の一助を担うパネル展となった。</p>		

【パネルに寄せられた感想】

- ・わかりやすく丁寧にまとめられていて、沖縄の女性のたくましさを改めて感じました。
- ・とてもわかりやすく説明されていました。強いて言うなら、ところどころ写真等があると、イメージがより伝わるなあと思いました。
- ・トートナー継承問題や管理職夫婦の共働き規制問題など初めて知ることも多く、解説もわかりやすくてよかったです。
- ・時系列でわかりやすい。もうすこし時代背景をマンガで楽しくするのもいいかも。又は、その時代のトピックをクイズで問うことも！今回から次回に期待します。
- ・年代、説明そしてイラストのカラー等、理解をきっかけになりとても良かったです。
- ・関連本のリストを見られるのはとってもうれしい！！

★パネルは、こちらから閲覧できます★
貸出も行っています



写真



ご来場
ありがとうございました♪
by.ているるちゃん

